

●用語の定義

本手引きで使用する用語の定義を以下に示します。

| 用語 | 定義 |
|-------------|---|
| ア オープンソース | ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを、インターネットなどを通じて無償で公開し、誰でもそのソフトウェアの改良、再配布が行えるようにすること。また、そのようなソフトウェア。 |
| オンプレミス | サーバーやソフトウェアなどの情報システムを使用者が管理する設備内に設置し、運用すること。 |
| カ 外部インタフェース | インタフェースとは、二つのものが接続・接触する箇所や、両者の間で情報や信号などをやりとりするための手順や規約を定めたもの。外部インタフェースは、「ハードウェアインタフェース」、「ソフトウェアインタフェース」、「ユーザインタフェース」の3つに大別できるが、本ガイドラインで記載する外部インタフェースは、ソフトウェアインタフェースの事を指し、統合型校務支援システムと他のシステムとの間でデータをやり取りする手順や形式を定めたものをいう。 |
| カスタマイズ | ユーザーの好みや使い勝手に合わせて、パッケージベンダが提供するシステムやソフトウェアの機能などに有償で手を加えること。 |
| 共同調達・共同利用 | 複数の自治体が共同で利用する統合型校務支援システムを共同で調達すること。 |
| クラウド | インターネットにつながるサーバー群が情報サービスを提供すること。「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」を利用することができるコンピュータネットワークの利用形態のこと。 |
| グループウェア | 掲示板・メール・スケジュール・文書管理等を行うための機能やシステムのこと。 |
| 公簿 | 学校教育法施行規則第28条が定める以下の帳票のこと。 一 学校に関係のある法令 二 学則、日課表、教科用図書配当表、学校医執務記録簿、学校歯科医執務記録簿、学校薬剤師執務記録簿及び学校日誌 三 職員の名簿、履歴書、出勤簿並びに担任学級、担任の教科又は科目及び時間表 四 指導要録、その写し及び抄本並びに出席簿及び健康診断に関する表簿 五 入学者の選抜及び成績考査に関する表簿 六 資産原簿、出納簿及び経費の予算決算についての帳簿並びに図書機械器具、標本、模型等の教具の目録 七 往復文書処理簿 |
| サ サーバ | ファイルや機能の情報を保管し、その情報をPC等に提供するコンピューターのこと。 |
| 自治体クラウド | 地方公共団体が情報システムを庁舎内で保有・管理することに代えて、外部のデータセンタで保有・管理し、通信回線を経由して利用できるようにする取組み。複数の地方公共団体の情報システムの集約と共同利用を進めることにより、経費の削減及び住民サービスの向上等を図るもの。 |
| 仕様書 | ハードウェアやソフトウェア、情報システムの仕様の明細を記した書類のこと。製品購入時の判断に利用される。 |
| ソフトウェア | 機械類や電子部品などの物理的な実体を持ったハードウェアに対して、コンピューターシステム上で行う手続きなどコンピューターに命令・動作させるプログラムなど物理的な実体を持たないものの名称。 |
| タ タスクフォース | 特定の課題に取り組むために設置されるチームのこと。 |
| 地方財政措置 | 地方債（地方公共団体が、資金調達のために負担する債務で、その返済が一会計年度を超えて行われるもの）と地方交付税制度（国から地方公共団体に対して交付される税金のことで、国税のうち所得税、法人税、酒税からそれぞれ一定割合の額で計算されるもの）のこと。 |

| | | |
|---|--------------------|--|
| | データセンタ | コンピュータ設備や通信設備を設置するための施設のこと。 |
| | 同時アクセス数 (同時接続数) | 同時アクセス数とは、外部からの接続を受け付けるサーバやシステムなどで、ある瞬間に同時に接続している(あるいは、することのできる上限の)機器や利用者の数のこと。 |
| ナ | ネットワーク | 複数のコンピュータを接続して、相互に通信できるようにした状態のこと。 |
| ハ | パッケージシステム | パッケージソフトウェア。市販されているソフトウェアのこと。特定の業務あるいは業種で汎用的に利用することのできる既製のソフトウェアのこと。 |
| | パッケージベンダ | 統合型校務支援システムを製造(開発)・販売する事業者のこと。 |
| | バージョンアップ | バージョンアップとは、ソフトウェアが機能を向上したり不具合を修正したりして、新しい版となって再発売・再公開されることをいう。また、利用者が手元のソフトウェアを新しい版に入れ替えて更新することをいう。 |
| | ハードウェア | コンピュータの機器本体や物理的な構成要素、周辺機器を指す |
| マ | マクロ機能 | アプリケーションソフトでよく用いる操作手順をセットにして登録しておき、任意に呼び出して実行させることができる機能のこと。マクロ機能を用いて複数の手順をセットで登録することにより、入力作業量を減らし、同時に誤操作を減らすことができる。ワープロソフトや表計算ソフトなどの多くがマクロ機能を備えている。 |
| | マスタ | 統合型校務支援システムのデータベースなどで処理の基本となるデータを集めたデータ群を指す。 |
| | ミドルウェア | コンピュータ上において、アプリケーションソフトとOSなどのシステムプログラムの間に位置するソフトウェアのこと。 |
| | メールシステム | 電子メールのやりとりを行うシステムのこと。 |
| ヤ | 要求仕様 | システム工学やソフトウェア工学等の工学分野において、特定の製品やサービスがどうあるべきかを記述する文書のこと。ここでは、統合型校務支援システムを調達する際、システムに求める機能や条件等を記述した文書のこと。 |
| ラ | レスポンスタイム | レスポンスタイムとは、システムや装置などに指示や入力を与えてから、反応を返すまでの時間のこと。この時間が短いほど、利用者や他のシステムなどが応答を待つ「待ち時間」が少ないことを意味する。 |
| A | APPLIC(アプリック) | 一般財団法人全国地域情報化推進協会のこと。自治体のシステム間の連携(電子情報のやりとり等)を可能とする地域情報プラットフォーム標準仕様を策定し、公開、普及をはかっている。教育においては、校務のデータ連携を可能とする教育情報アプリケーションユニット標準仕様を策定し、普及に努めている。 |
| C | CSV | CSV(CSVファイル)とは、表計算ソフトやデータベースソフト、家計簿ソフトなどの間で、データ交換を可能にするためファイルのこと。「.csv」形式では、データがカンマ(,)によって区切られるだけの値(Comma Separated Value)であるという、シンプルな方式がとられており、広く互換性を保つことが可能となっている。 |
| J | JIS(ジス) | 日本語を表現する文字コードのこと。 |
| O | OS(オーエス) | Operation Systemの略で、コンピュータや携帯電話などの機器の基本的な操作環境や機能を提供するソフトウェアのこと。 |
| S | SLA(エスエルエー) | service level agreement(サービスレベルアグリーメント)の略。システム等(サービス)の提供事業者とその利用者間で結ばれるサービスのレベル(定義、範囲、内容、達成目標等)に関する合意サービス水準、サービス品質保証のこと。 |
| U | Unicode (ユニコード) | 全世界の文字を共通のコードで表現するために開発された文字コードのこと。 |
| V | VPN(ブイピーエヌ) | 公衆回線を仮想専用回線にするためには、パケットにヘッダをつけてカプセル化して通信をするトンネリングと呼ばれる技術を用いたネットワークのこと。 |
| W | Webシステム | インターネットを使うシステムのこと。情報システムの分類の一つで、WebサーバやWebブラウザ、関連するプロトコルなどWeb技術を中心に構築されたものを指す。 |